



2024年3月期 第2四半期
決算説明資料
株式会社トーメンデバイス

2023年10月26日

証券コード：2737

<https://www.tomendevices.co.jp/>

本資料に掲載されている株式会社トーメンデバイスの業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、事業等のリスクや不確実の要因によっては、大きく変化する可能性があります。従って、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、本資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断に基づいて行っていただきますようお願い申し上げます。

I

2023年3月期 第2四半期 連結決算概況

II

2024年3月期 連結業績見通し

III

補足資料

取引先であるFCNT株式会社の民事再生手続き開始申立てを受け、特別損失42億円を計上したことにより四半期純利益はマイナスの結果となった

売上高

1,837億円

ご参考

前期実績

2,221億円

親会社株主に帰属する
四半期純利益

▲4百万円

ご参考

前期実績

27億円

- データセンター・ストレージ向けNAND FLASH、車載等の売上は増加するものの、コンシューマ製品の販売低迷により、PC、スマートフォンの売上は減少
- 主力製品であるメモリー半導体の価格下落

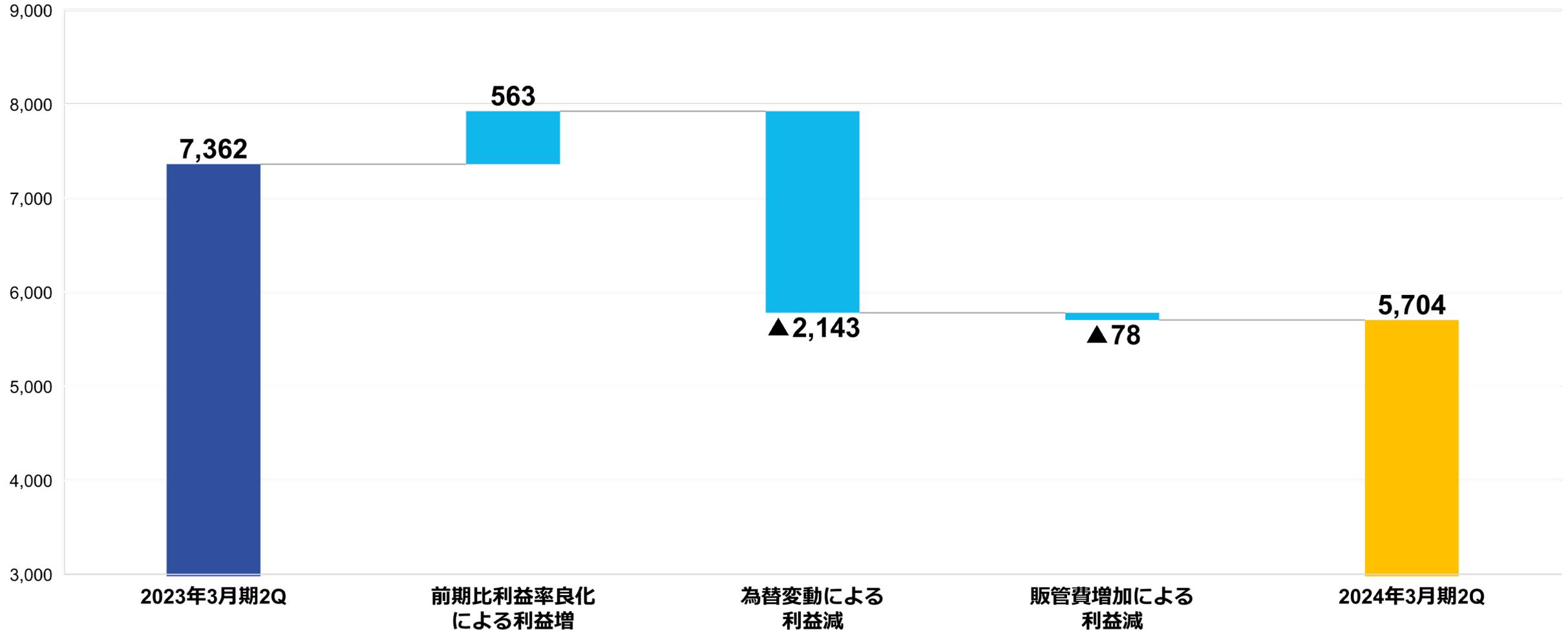
(百万円)	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	対前期比	
			増減額	増減率
売上高	222,153	183,781	▲ 38,372	▲ 17.3%
営業利益	7,361	5,703	▲ 1,658	▲ 22.5%
経常利益	3,607	3,413	▲ 194	▲ 5.4%
特別利益	-	445	445	—
特別損失	-	▲ 4,236	▲ 4,236	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,724	▲ 4	▲ 2,728	—

特別利益：投資有価証券売却益（政策保有株式の売却）

特別損失：取引先であるFCNT株式会社の民事再生手続き開始申立てを受け貸倒引当金繰入額、棚卸資産評価損

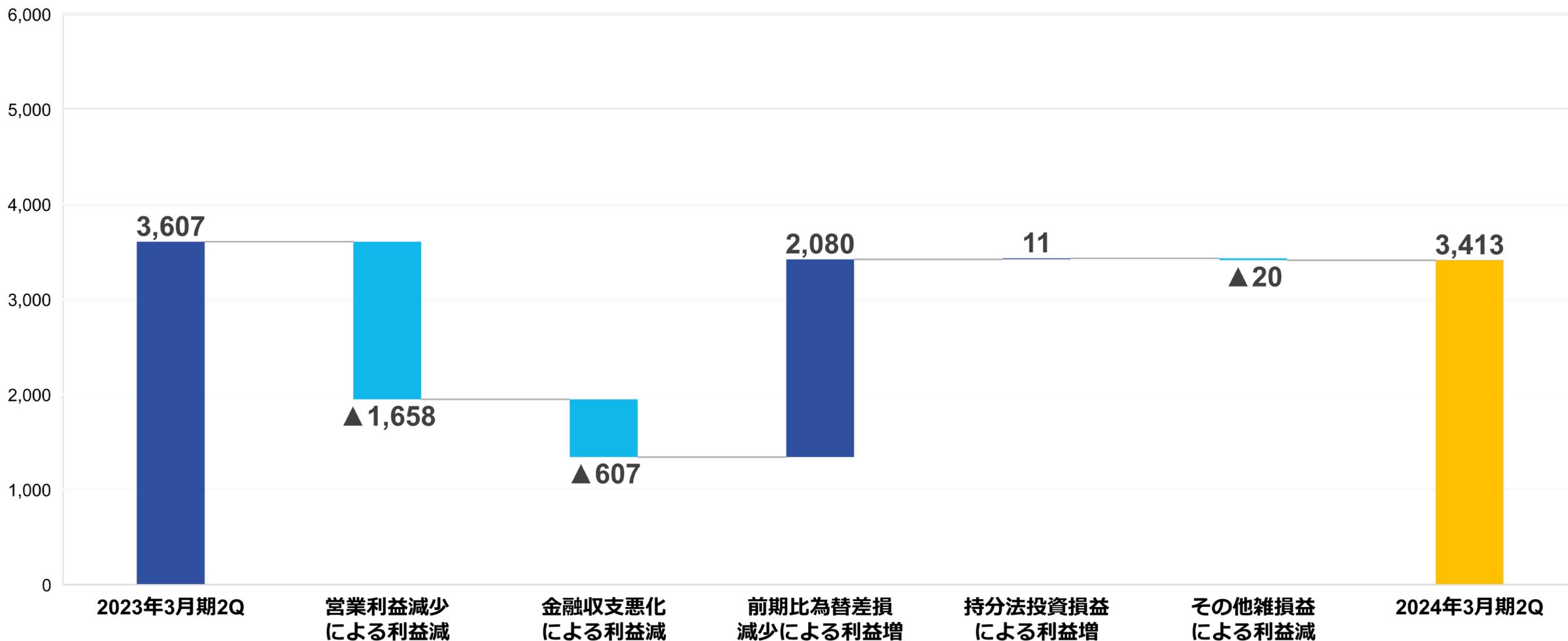
- 為替相場の影響から、売上総利益が減益
- 価格下落の環境のなか、一定の利益を確保

(単位：百万円)



■ 為替差損が減少したものの営業利益減少により減益

(単位：百万円)

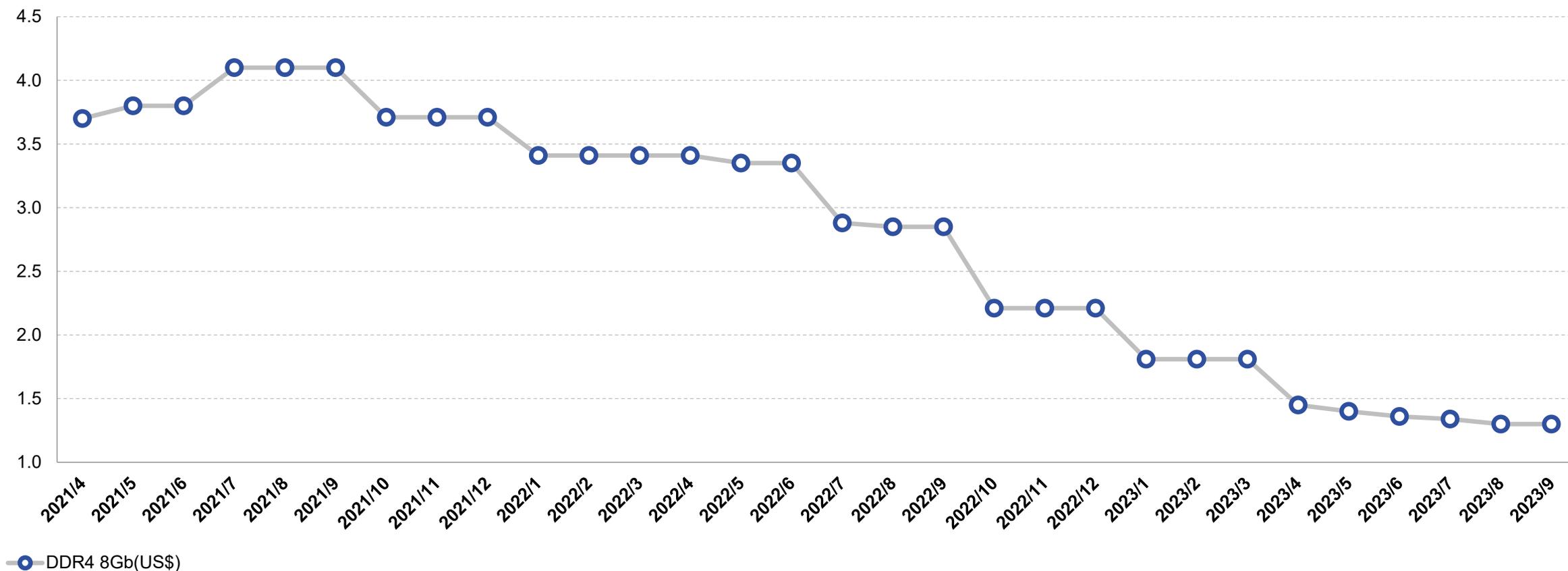


DRAM価格推移（'21年4月～'23年9月）

■ 一般市況

昨年から継続していた価格下落も下げ止まり、2023年下期には反転の兆し

(単位：USドル)

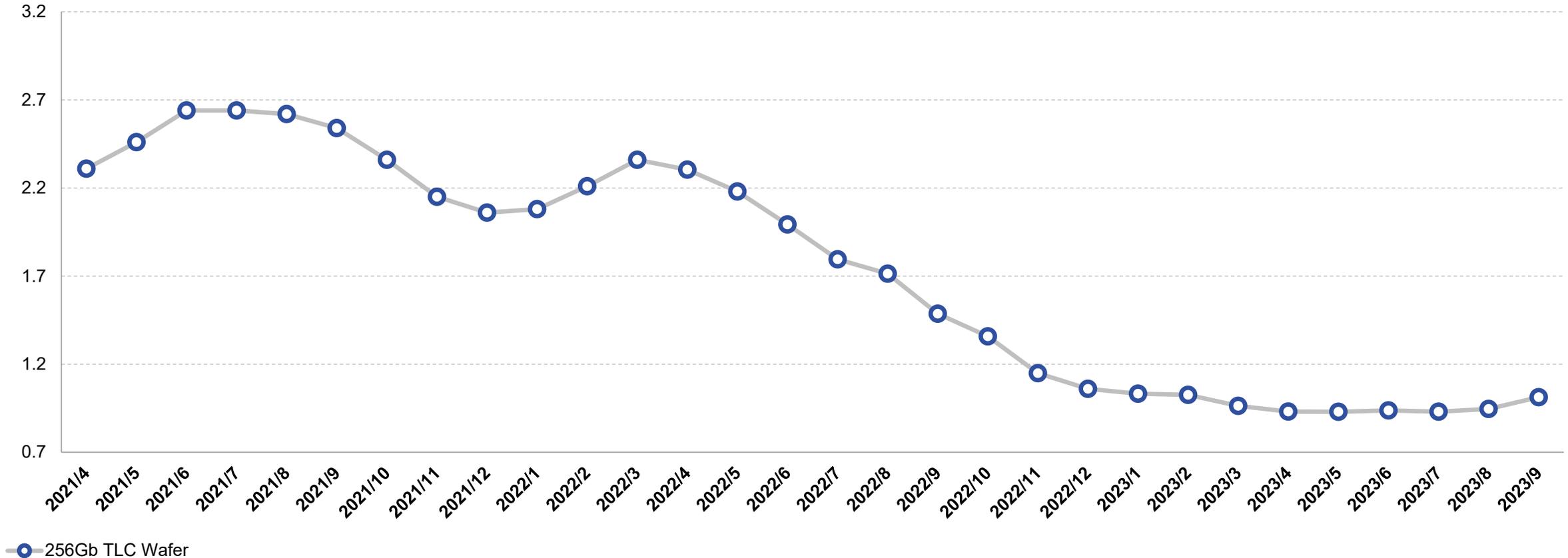


(出所) 各種資料をもとに当社で作成

■ 一般市況

PCやサーバー向けSSD需要が低調、価格反転は下期以降に期待

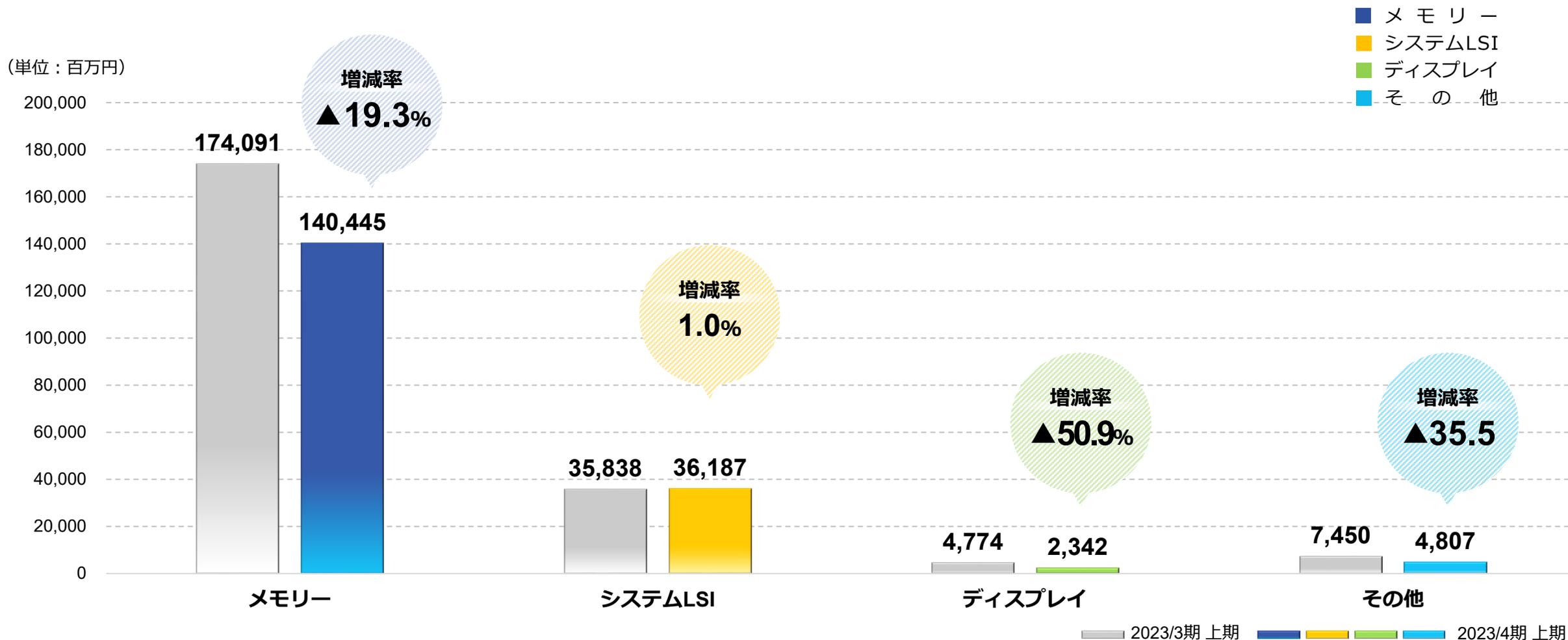
(単位：USドル)



(出所) 各種資料をもとに当社で作成

2024年3月期 第2四半期 商品別 売上高推移

- 一定の販売数確保も、メモリー価格は緩やかに下落
- 既存のサーバーおよびコンシューマ向け市場の需要回復力は鈍く、当社主力製品であるメモリー製品の販売減少



メモリー

▲ **19.3%**

- 車載向けDRAMおよびNAND FLASH製品の売上拡大
- 海外市場でサーバー・ストレージ向けNAND FLASHの売上拡大
- PCおよびスマートフォン向けメモリー製品の販売減少

システムLSI

+ **1.0%**

- 国内市場でSiP(システム・イン・パッケージ)ビジネスの売上拡大
- 海外市場でスマートフォン向け高画素CIS(CMOSイメージセンサー)の売上が堅調に推移
- テレビ向けDDI(ディスプレイドライバーIC)の売上減少

ディスプレイ

▲ **50.9%**

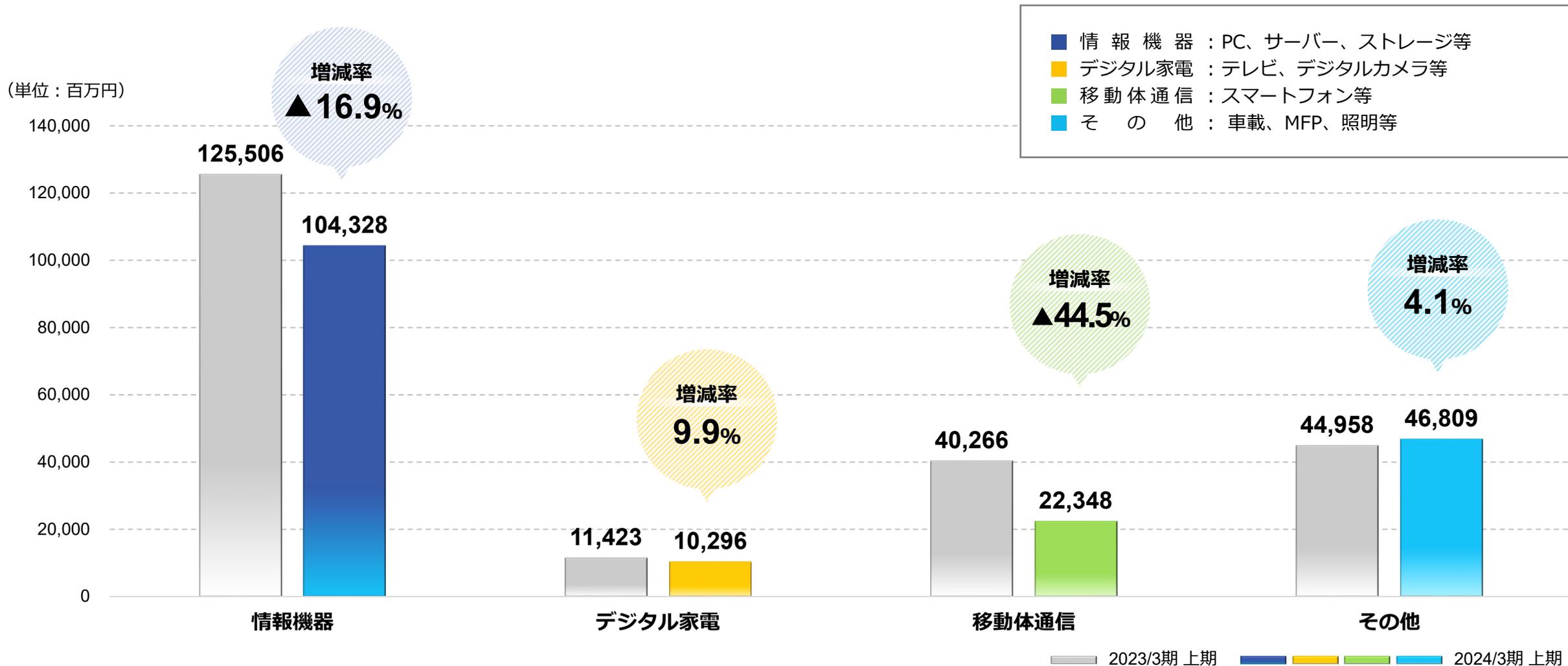
- スマートフォン向け有機ELの販売減少
- テレビ・モニター向け液晶パネルの販売減少

その他

▲ **35.5%**

- 車載向けMLCC(積層セラミックコンデンサ)の売上増加
- テレビ向けバックライト用LEDの売上減少
- 工作機等向けバッテリーの売上減少

■ 既存のサーバーおよびコンシューマ向け市場の回復時期は不透明



情報機器

▲16.9%

- サーバー・ストレージ向けNAND FLASH製品の売上が堅調に推移
- PC向けDRAMおよびNAND FLASH製品の売上減少

デジタル家電

▲9.9%

- テレビ向けバックライト用LEDの売上減少

移動体通信

▲44.5%

- スマートフォン向けMCP(マルチチップ・パッケージ)および有機ELの販売減

その他

+4.1%

- 車載向け製品の売上が伸長
- 国内市場でFoundryおよびSiPビジネス売上拡大

I

2023年3月期 連結決算概況

II

2024年3月期 連結業績見通し

III

補足資料

2024年3月期通期連結業績予想

- ✓ 一部の半導体需要は旺盛だが、中国経済の減速や既存のサーバーおよびコンシューマ向け市場の需要は乏しく依然先行き不透明
- ✓ 市場変化への対応、顧客・サプライヤーとの緊密な連携を強化し、2023年6月公表の連結業績予想を着実に達成していく

(百万円)	当初予想 (2023年4月27日発表)	修正予想 (2023年6月16日発表)	対当初予想比		(参考)	
			増減額	増減率	前年実績	増減額
売上高	370,000	355,000	▲15,000	▲4.1%	417,621	▲62,621
営業利益	7,000	6,300	▲700	▲10.0%	12,230	▲5,930
経常利益	5,500	4,500	▲1,000	▲18.2%	6,589	▲2,089
特別損失	—	▲4,200				
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,000	850	▲3,150	▲78.8%	4,906	▲4,056
1株当たり純利益 (円)	588.15	124.98	—	—	—	—

特別損失：取引先であるFCNT株式会社の民事再生手続き開始申立てを受け貸倒引当金繰入、商品評価損計上



サーバー・ストレージ向け
NAND FLASHの拡販継続

車載Biz販売促進

Foundry/ASIC Biz拡大



アジア市場での
マーケットシェア拡大

車載Biz拡大



リスクマネジメントの徹底

中計PJの加速

①マーケティング活動②DX2.0推進③人材育成

メモリー

- NAND／SSD拡販、新規ビジネス獲得
- 日系・アジア市場への車載D/I強化

システムLSI・ Foundry

- 技術サポート強化による顧客拡大
- Foundry拡大

ディスプレイ

- 車載向けプロモーション強化
- 有機EL採用に向けD/I継続

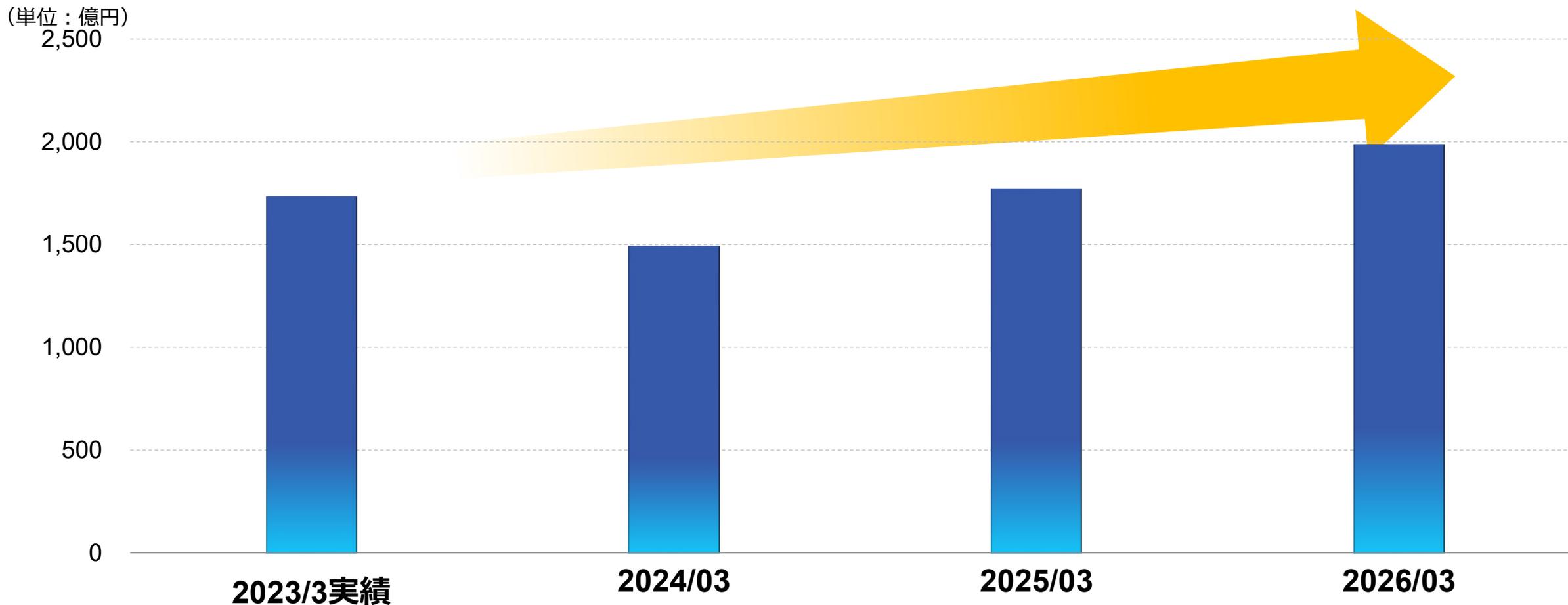
その他

- 新規商材発掘、選定
- 設備ビジネスプロモーション強化、フォロー

2024年3月期 Biz方針に掲げた重点ポイントを強化・加速
引き続き先行き不透明な外部環境下、以下の重点施策により事業の拡大・収益増強を図ります。

- ✓ **市場変化への対応・動向見極め**
部材確保・安定供給・在庫最適化によるバランス経営の実践
- ✓ **顧客・サプライヤーとの緊密な連携強化**
マーケティング活動強化による付加価値創造、製品戦略立案、拡販体制構築
- ✓ **リスクマネジメントの徹底**
与信リスクモニタリング、再発防止策の検討

- サーバー需要の下振れや価格下落から2024年3月期は一時的に売上が減少するものの、市場規模の拡大に併せ成長を見込む



- メモリーは順調にD/I獲得・進行、ビジネス拡大
- メモリー以外の商材は引き続き提案、種まき

System LSI

ナビ・コックピット、AD/ADAS
向けにプロモーション強化
(Application Processor)

有機EL

ナビ・コックピット向けに
案件獲得、拡販推進

車載関係

Auto CIS

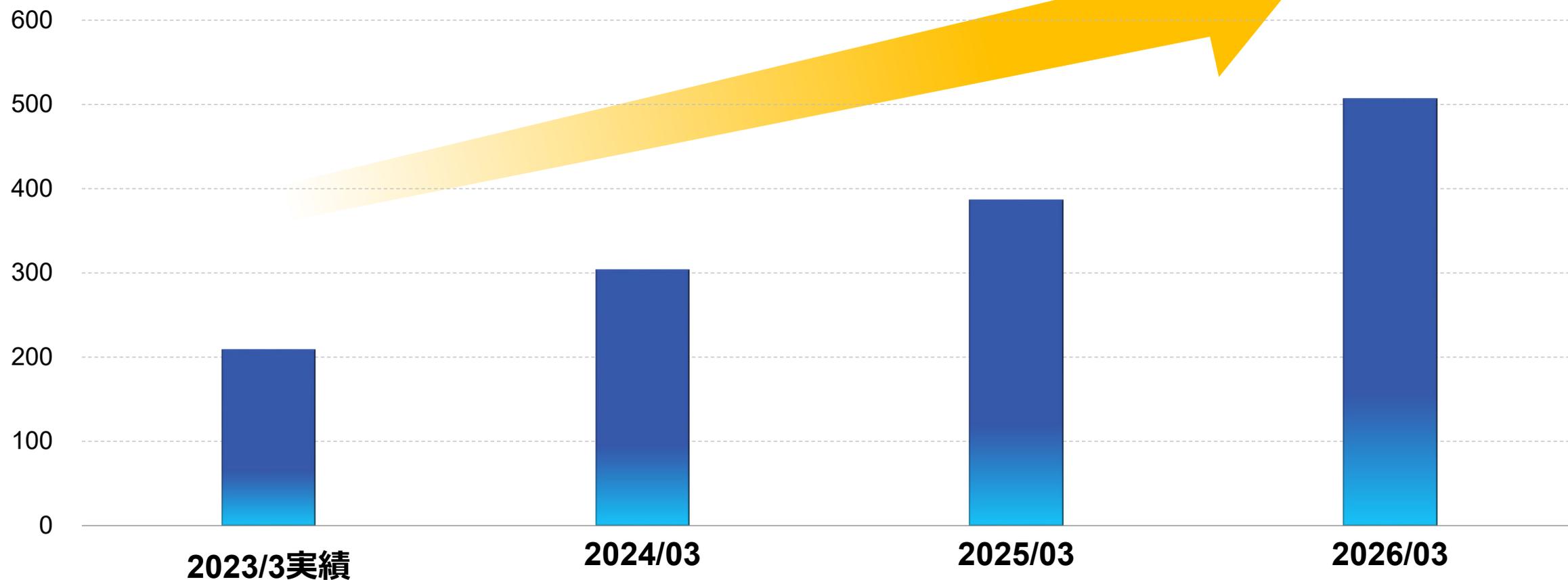
カメラシステム・AD/ADAS
向けにプロモーション強化
(CMOS Image Sensor)

MLCC

電動化、AD/ADAS向けに
案件獲得、拡販推進

- 車載用商材を拡充し市場を開拓
- 品質対応および海外サポートの体制整備

(単位：億円)



サーバー・ストレージ：EMS/ODMとの関係強化

- ✓ 2023年5月台湾事務所設立
既存顧客サポート、新規顧客開拓

新規商材検討会立ち上げ

- ✓ 新規商材の市場性・収益性・信用性・リスク分析等総合的に判断

「JPX日経中小型株指数」構成銘柄選定

- ✓ 株式会社JPX 総研及び株式会社日本経済新聞社が共同で算出する「JPX 日経中小型株指数」の2023年度（2023年8月31日～2024年8月29日）の構成銘柄として2年連続で選定されました。構成銘柄の選定は、時価総額によるスクリーニングに加え、3年平均ROEなどの定量的な指標による評価、独立した社外取締役の選任などの定性的な指標による評価をもとにおこなわれ、200銘柄が選定されています。



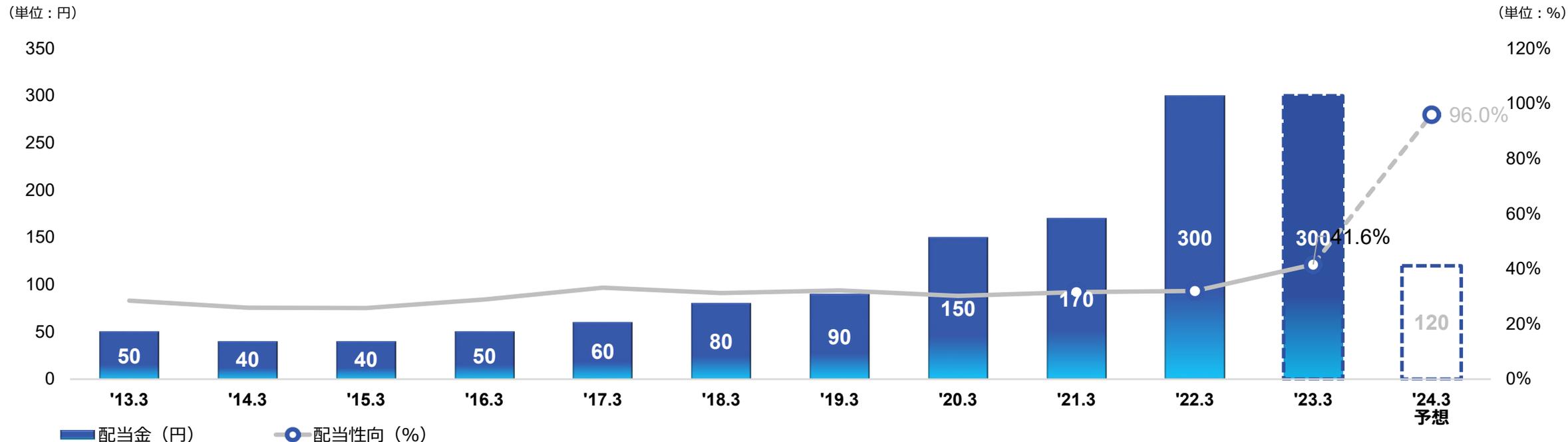
JPX-NIKKEI Mid Small

■ 通期連結業績予想数値の修正に伴い120円に減配

(2023年6月16日公表の業績予想、配当予想の修正および特別損失計上に関するお知らせのとおり)

■ 配当方針

- 連結業績に応じた業績連動型の配当
- 安定的な配当の継続を目指し、配当性向の引き上げを図っていく
- 経済環境の変化と資金需要等を勘案し柔軟に対処
- 内部留保は、激変する経済環境下における経営基盤の強化、事業拡大に伴う資金需要への充当および財務体質の強化に活用



中期経営計画 2026年3月期定量目標 (2023年4月27日公表)

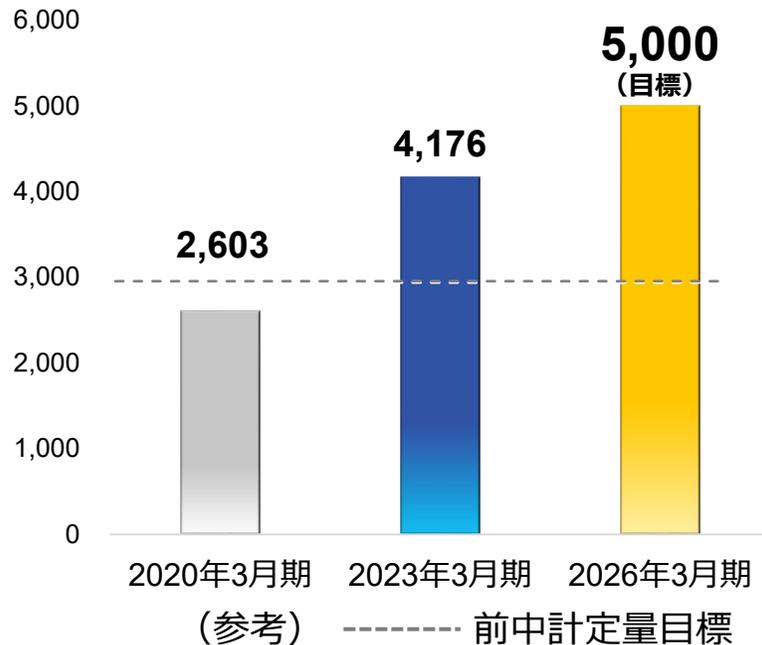
■ 2024年3月期は特殊要因により未達の見込み。ただし、**2026年3月期の定量目標は変更しない。**

売上高

経営目標

5,000 億円

単位：億円

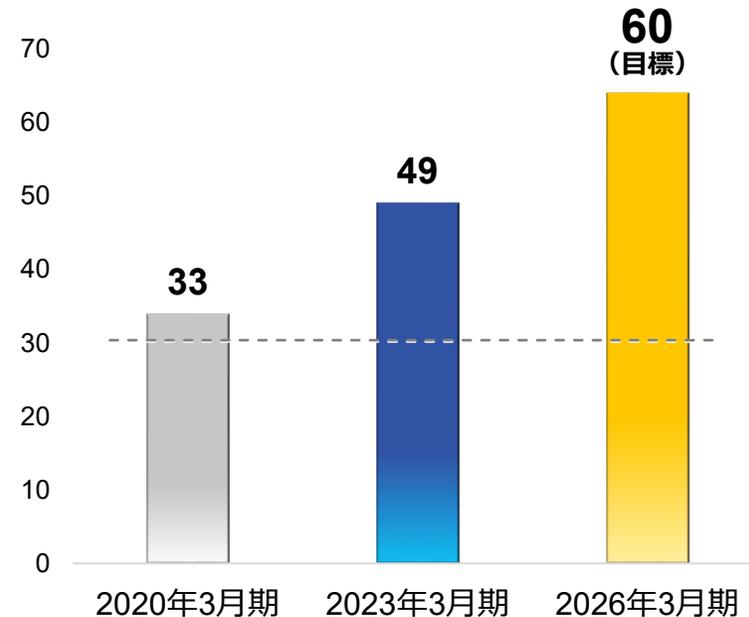


当期利益

経営目標

安定的に **60** 億円

単位：億円

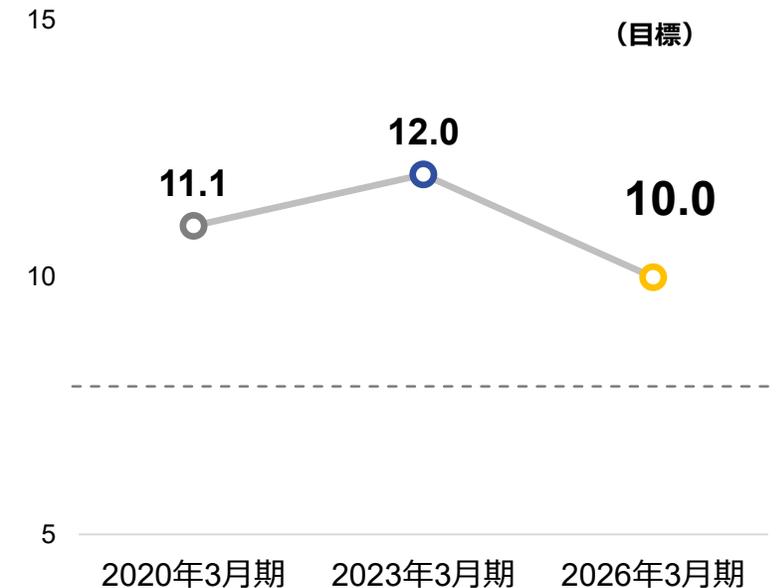


ROE

経営目標

安定的に **10%** を目指す

単位：%



I

2023年3月期 連結決算概況

II

2024年3月期 連結業績見通し

III

補足資料

当社のMISSION、VISION、VALUE、MATERIALITYの関係性を整理しました。
これにより、当社が社会的責任を果たしながら持続的な成長を目指すためのロードマップが明確化され、
経営戦略の実行を加速することにつながると考えています。



MISSION

先端技術の提供とグローバルなパートナーシップを通じて、
顧客・社会の^{いま}現在と、ひとつ先の未来に貢献します

VISION

価値を創造し続け、常に選ばれるエレクトロニクス商社

- 多様なニーズや課題に応え、ステークホルダーから信頼される存在になる
- 取引先との強固なリレーションを軸にグローバルなサービス網を構築、展開する
- 環境に配慮したデバイスの提供を通じて持続可能な社会づくりへ貢献する
- 働きやすい環境の中で、個を高め、チームとして結束する



行動指針はミッション・ビジョンを実現するための判断や行動のよりどころとなっています。
わたしたちに必要な意識、価値観を表現したものです。

わたしたちは

■ お互いを尊重します

個々を尊重し、グローバルで多様性のある組織をつくります

■ 日々向上します

積極的に視野を広げ、初心を忘れず共に成長します

■ 挑戦し続けます

好奇心と情熱をもって挑戦し、粘り強く最後までやり遂げます

■ 信頼に応えます

多様なニーズや課題に真摯に対応し、ステークホルダーから必要とされる存在になります

■ コンプライアンスを徹底します

法令や社会規範を遵守し、誠実に業務を行います

■ 次世代へ貢献します

一人ひとりが積極的に環境に配慮して行動し、持続可能な社会の発展に貢献します

そして、**常に選ばれる企業を目指します。**



先端技術の提供とグローバルなパートナーシップを通じて、
顧客・社会の現在（いま）と、ひとつ先の未来に貢献します

価値を創造し続け、 常に選ばれるエレクトロニクス商社

- 多様なニーズや課題に応え、
ステークホルダーから信頼される存在になる
- 取引先との強固なリレーションを軸に
グローバルなサービス網を構築、展開する
- 環境に配慮したデバイスの提供を通じて
持続可能な社会づくりへ貢献する
- 働きやすい環境の中で、個を高め、
チームとして結束する

MISSION

当社が
社会に対して
なすべき使命

VISION

当社が目指す
ありたい姿

VALUE (行動指針)

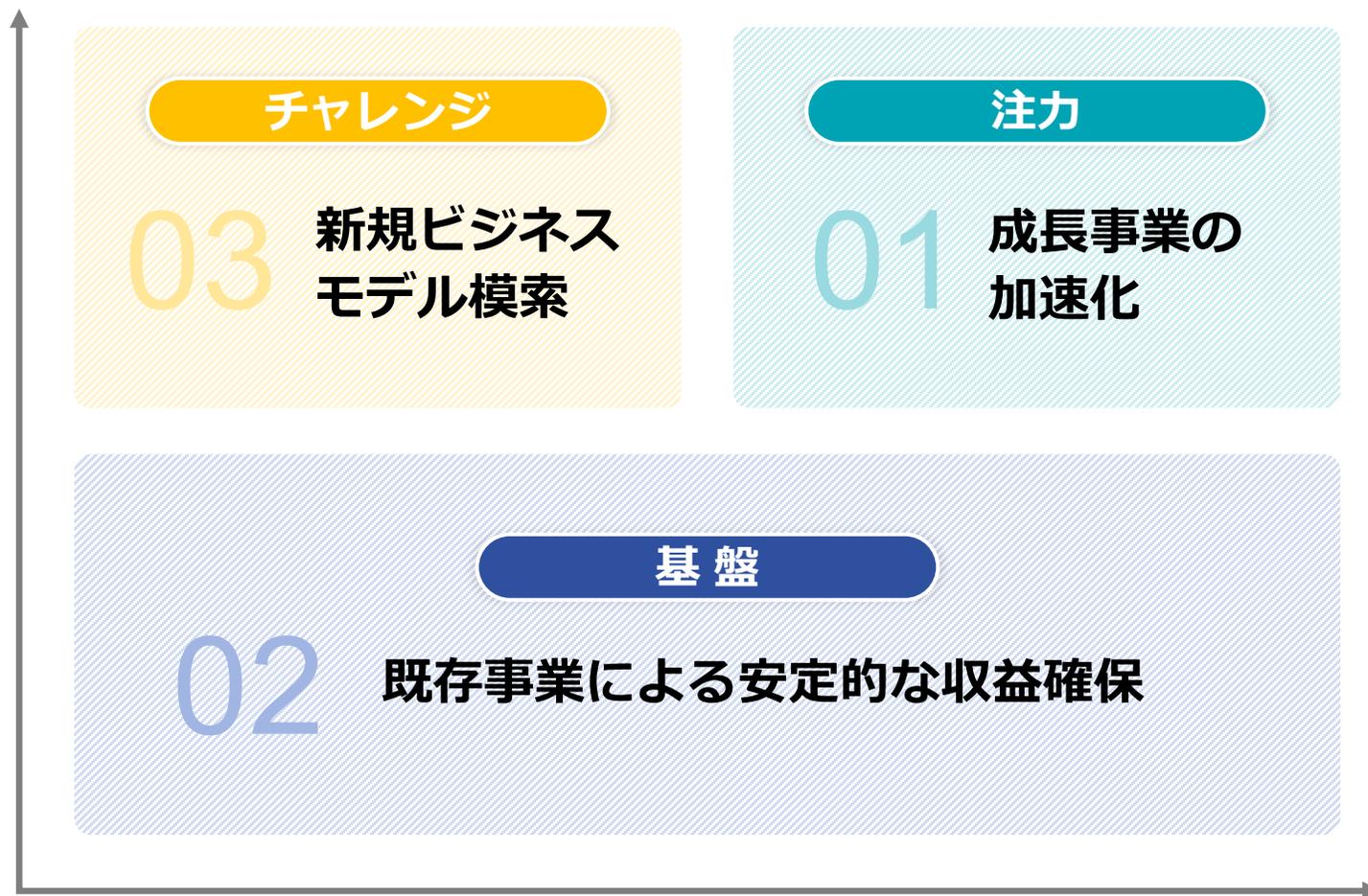
当社の役職員が
具体的に
やるべきこと

わたしたちは

- **お互いを尊重します**
個々を尊重し、
グローバルで多様性のある組織をつくります
- **日々向上します**
積極的に視野を広げ、初心を忘れず共に成長します
- **挑戦し続けます**
好奇心と情熱をもって挑戦し、
粘り強く最後までやり遂げます
- **信頼に応えます**
多様なニーズや課題に真摯に対応し、
ステークホルダーから必要とされる存在になります
- **コンプライアンスを徹底します**
法令や社会規範を遵守し、誠実に業務を行います
- **次世代へ貢献します**
一人ひとりが積極的に環境に配慮して行動し、
持続可能な社会の発展に貢献します

そして、常に選ばれる企業を目指します。

それぞれの領域に対し戦略を策定しポートフォリオ経営を実践
(ヒト・モノ・カネの適切なリソース配分)



- | | |
|--------------|--|
| 注力事業 | <ul style="list-style-type: none">• サーバー・ストレージ• 車載• Foundry/ASIC |
| 基盤事業 | <ul style="list-style-type: none">• 携帯• PC• TVその他家電他 |
| チャレンジ | 新規商材と事業機会の発掘
(検討会の開催、顧客への提案) |

当社グループは各種方針の制定や委員会の設置などの体制を整え、環境・社会問題の解決に向け目標を掲げて持続可能な社会の実現に向け、サステナビリティ経営を実践しています。

<p>気候変動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 低消費電力のメモリー半導体製品の販売や提案により、省電力化および効率化に貢献 最先端、高品質、高性能で安全性の高い車載型半導体製品を提供することでグローバル社会へ貢献 		<p>サステナビリティ経営の推進</p> <p>脱炭素社会への貢献</p>
<p>人的資本</p>	<ul style="list-style-type: none"> プロフェッショナル人材を育成するための仕組みづくりを推進 		<p>人財力の最大化</p>
<p>多様性</p>	<ul style="list-style-type: none"> D&I推進（女性、外国人、中途採用の管理職の登用） 柔軟な働き方の推進（育児、介護、在宅勤務制度など各種制度の充実） 		<p>働き方、ワークライフバランスの推進</p>
<p>人権</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人権を尊重し、人を育て、活かし、「社会に貢献する人づくり」への積極的な取り組み 		
<p>責任ある調達</p>	<ul style="list-style-type: none"> 豊田通商グループ「サプライチェーン・サステナビリティ行動指針」の実践 		

テーマ	取り組み状況	目標
気候変動	<ul style="list-style-type: none"> CO₂削減の推進 気候変動シナリオ分析、リスクと機会の影響度・対応方針の検討 Scope 3 カテゴリー 4, 6, 7 の算定 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年までにGHG排出量（Scope 1、2）50%削減（2019年比） 2050年にカーボンニュートラル
人的資本	<ul style="list-style-type: none"> Eラーニングの導入検討 海外研修制度、自己啓発支援金 	<ul style="list-style-type: none"> 一人当たり研修時間：20時間／年
多様性	<ul style="list-style-type: none"> 在宅勤務制度導入 仕事と家庭の両立支援推進 有給休暇取得推進運動実施 	2025年までに <ul style="list-style-type: none"> 採用した労働者に占める女性社員（総合職）の割合：20% 男性の育児休業取得率：50%以上 有給休暇取得率：70%以上 2030年までに <ul style="list-style-type: none"> 女性管理職：10%程度
人権	<ul style="list-style-type: none"> 社内啓蒙、研修、セミナーの開催 	—
責任ある調達	<ul style="list-style-type: none"> 指針の配布 サプライヤー評価・分析の実施 	—



ご清聴ありがとうございました